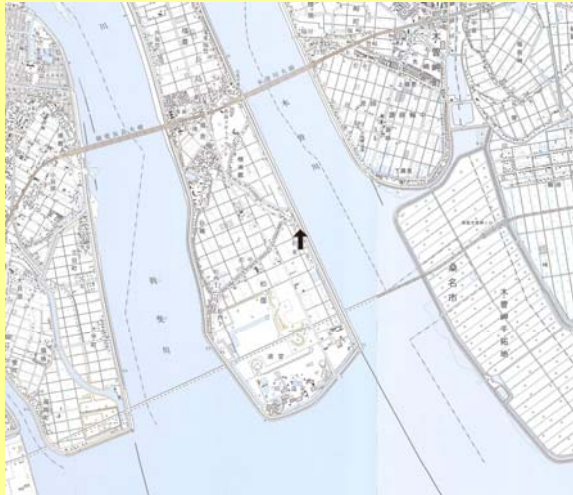


伊勢湾台風写真台帳



写真名称： 長島町松蔭の木曾川右岸 1.8k 附近の堤内地	現地状況、コメント等
エ リ ア： 三重県	〔被災体験を持つ元建設省職員の方の所見（座談会）〕 伊勢湾台風被災後に、被災状況を把握するために踏査したときのものであり長島町松蔭付近の堤内地である。 踏査時の調査表には以下のように整理されている ＜10月13日 災害状況調査表＞ ●堤防の様子／嵩上げ堤か：嵩上げ堤、法線方向：北北西、道路を兼用しているか：兼用、土質：砂、 ●溢流しているか／溢流する、その時刻：≒7時前後、 ●溢流深（波立）：≒0.5m、波の来た方向：南南東～南東、しぶきがこしたか：こした、その高さ：不詳 ●木の傾いている方向：北、何度位（地面に対し）：70° ～60° 、樹種：マツ・シウノキ ●木の倒れている方向：北東、根入深さ：1.5m、木の太さ：0.3m、樹種：桜 ●電柱が傾いている方向：北西、何度位：50° 、電線がついているか：ついている ●草がねていたか：ねている、その方向：北、場所：裏法下、大きさ：6.0m ●灌木は残っているか：残っている、大きさ：1～2m ●堤内地の家の壊れ方／壁、屋根、柱：流失全壊
撮影箇所： 長島町	
撮 影 日： 1959 年	
撮 影 者： 旧建設省	
資料提供者： 木曾川下流河川事務所	
状 況： 一	
撮影位置	
	
※国土地理院発行地形図を使用	